

就農者と離農者がつながる

豊かな大地が広がり、農業が盛んな芝山町。しかし、他の地域と同じように、近年ではさまざまな理由により農業をやめる人が増えています。その一方で、「芝山町で農業を始めてみたい」という若者もいます。しかしその時障害となるのは、農地や設備をそろえること。

今回の街角ズームINでは、農業を始めたい人と農業を離れる人の間で施設や設備のやりとりが行われた2つのケースをご紹介します。



上写真：小林さんが借りている倉庫
左写真：左から怒賀薫さん、小林一裕さん、堀越幸一さん

ケース1. 倉庫を借りたい人と貸したい人をつなぐ

農家の夢

小林一裕さんの家は成田市で農業を営んでいましたが、父親の代で廃業をしました。小林さんは就職しサラリーマンになりましたが、農家になる夢を持ち続けていました。

平成27年4月、小林さんに転機が訪れます。急に農業を続けられなくなった親戚から畑の管理について相談されたのでした。小林さんは昔からの夢を叶えるチャンスと考え、農家として生きていく決意をしました。

やるからには専業農家しかないと考えていた小林さんは、9月に仕事を退職。芝山町に親戚や知人が多かったため、芝山町内の畑を借りることができました。しかし、自宅と畑が離れているため、農機具や肥料の置き場所困ってしまいました。そこで小林さんは昨年の9月に、町の農業委員会へ町内で倉庫を借りられないか相談をしました。

農業委員会がつなぐ縁

農業委員会の会議で、小林さんの話が議題に上がりました。

会議に出席していた農地利用最適化推進委員の堀越幸一さんは、同級生の怒賀薫さんが使っていない倉庫を持っていることを思い出しました。怒賀さんの家では農業を廃業し、数年前まで使っていた倉庫の管理に困っていたのです。そこで堀越さんが2人の間に立ち、12月に打合せをして貸し借りが成立しました。

堀越さんは「町に拠点を構えてくれれば、安定的に農業をしてもらえる。これからもこういう事例が増え、町の農業の活性化につながってほしい」と、また怒賀さんは「倉庫を使ってもらえてよかった。これが町の活性化につながってくればうれしい」と話してくれました。

小林さんは「芝山町は知り合いが多くし人も温かい。困ったことがあると進んで助けてくれる人ばかりです。それに静かな場所で飛行機を見ながら農業ができるので、環境としては最高だと思います。私以外にも、新たに芝山町で農業を始めの人が増えてくれればいいですね」と芝山町の魅力を語ってくれました。

ケース2. 使わなくなったビニールハウスを移設

使えるものを譲る

新井田新田地区の実家を継いで農業をしてきた保谷利子さん。年齢と共に農作業が大変になってきたため、規模を縮小することにしました。そこで困ったのがビニールハウスの扱いでした。解体をすると費用も掛かるし、使えるものを廃棄するのはもったいない。悩んだ保谷さんは農地利用最適化推進委員の藤崎廣さんに相談をしました。

一方、農産物加工・販売会社勤務の大森武徳さんは仕事柄新規就農を志す知り合いが多く、彼らの悩みが農地や空き家が見つからないこと、農業資材の調達だということを知っていました。平成28年の夏、大森さんは芝山町内で就農者が借りられる農地がないか農業委員会に相談しました。そこで藤崎さんから保谷さんの話を聞き、ビニールハウスを就農者に引き渡せないかと考えました。大森さんは保谷さんと相談し、農家として独立したばかりの中山潤さんの畑にビニールハウスを移設することにしました。



上写真：右から保谷利子さん、夫・保谷文夫さん、中山さんと一緒にビニールハウスの解体を行っている鈴木俊さん、大森武徳さん、中山潤さん
右写真：今まで5棟を解体し、現在も解体作業中



有機農業をしている新規就農者

中山 潤さん

以前から農業を引退する人から技術や資材を受け継げれば良いな、と考えていました。今回保谷さんのおかげで念願叶い、とてもうれしいです。私以外の新規就農者も農地や資材について悩みを持っています。今回のケースを参考にし、他の新規就農者のお手伝いをしていきたいですね。

私が考える芝山町の魅力は、豊かな田んぼと畑です。そして芝山町は農業研修施設もあり都市部とのアクセスも良いので、就農希望の若者を呼び込む機会にも恵まれています。これを活かすには住居や農地について皆さんにご協力いただくことが不可欠です。田畑と若者の未来にぜひチャンスをご覧ください。



就農者と離農者の仲介をした

大森 武徳さん

農地の貸し借りをサポート

農業委員会では、農地などを貸したい人と農地などを借りたい人をつなぐお手伝いをします。左記までお問い合わせください。

問 農業委員会 ☎77-39200

新規就農者に支援

新たに農業を志す方には、さまざまな支援制度があります。詳しくは左記までお問い合わせください。

問 まちづくり課農政係 ☎77-3917

農業懇談会を開催

農業を辞めたい人、新たに農業を始めたい人、農業に関わっている人―「農」に携わる人々をつなぐため、懇談会を開催します。さまざまな人と交流し、情報交換をしてみませんか？

■日時 3月23日(木) 午後6時30分

■会場 役場本庁舎2階 大会議室

■議題 離農を考えている方から規模拡大・新規就農者へのバトンの引き渡しについて

■申込み 事前の申込みは不要です。当日、会場までお越しください。